

# MAXON ANALOG DELAY AD-150

## 取扱説明書



本器の性能を充分発揮して頂く為に、又おもわぬトラブルを未然に防ぐためにも、最後までお読み下さい。

### 〈特長〉

- ※ 純電子式のディレイマシーン(エコーチェンバー)で、従来のテープエコーのように磁気テープや磁気ヘッド等のメカニカルな部品は一切使用しておりません。テープやヘッドのクリーニングや交換のわずらわしさもなく、摩耗による音質の劣化はなく、長時間安定した動作が約束され、寿命も半永久的です。
- ※ 内外の多くのプロミュージシャンが愛用し、高い評価を得ている高級器 マクソン・アナログディレイ AD-230 の性能をそっくり本器にとり入れ、優れた S/N 比を発揮し、きわめてノイズの少ないクリアなエコーサウンドが得られます。
- ※ 新開発高性能 BBD(4000段)ICとバリアブルフィルター(V.F)の採用により25msec.~400msec.まで連続的にディレイタイムがセットできます。
- ※ ディレイ・オンリー・アウトプット端子をも備えておりますので、ボウカル、楽器、ミキサー、PAシステム及びオーディオの録音まで幅広くご使用いただけます。

## 〈ご注意〉

- 100V専用です。

本器は100V専用ですので、もし100V以外の電源でご使用になる場合は電圧調整器で100Vに合わせてご使用下さい。

海外でご使用になられる場合は当社又は当社のサービス機関にご相談下さい。

- 温度の高い場所での使用は避けて下さい。

直射日光のあたる場所やストーブの近く、又は温度の上がるアンブケースの上での使用はトラブルの原因となりますので避けて下さい。

- 湿気の多い場所での使用は避けて下さい。

精密部品を使用しておりますので、湿気の多い場所での使用や、コーラ等の水の入ったものをケースの上に置くことは避けて下さい。

- 化学洗剤やシンナー類の使用は避けて下さい。

- ボリュームを大きくしたままで電源スイッチをON-OFFしたり、電源のプラグを抜き差しすると、スピーカーに大きな負担がかかり破損するおそれがあります。必ずボリュームを0にしてから行って下さい。

## 〈主な規格〉

- ディレイ・タイム 25msec~400msec

- インプット インピーダンス

—20dB 500K $\Omega$

—35dB 500K $\Omega$

—50dB 5K $\Omega$

- アウトプット インピーダンス 5K $\Omega$ 以下

- ディレイオンリーアウトプットインピーダンス  
5K $\Omega$ 以下

- 入力換算ノイズ

—85dBm (IHF・Aカーブ補正)

- 電源 AC100V 50/60Hz 3.5 W

- 寸法 340(W)×85(H)×145(D)

- 重量 3 kg

- 付属品 接続コード1 m

※規格及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

製品は、厳重な品質管理のもとに生産されていますが、万一運搬中の事故などにもない、ご不審な個所又は破損などのトラブルがありましたらお早めにお買い上げいただきましたお店又はアフターサービスルームにお申し付け下さいますようお願い申し上げます。

株式会社 日伸音波製作所

本社 〒390-0851 長野県松本市島内4172-1

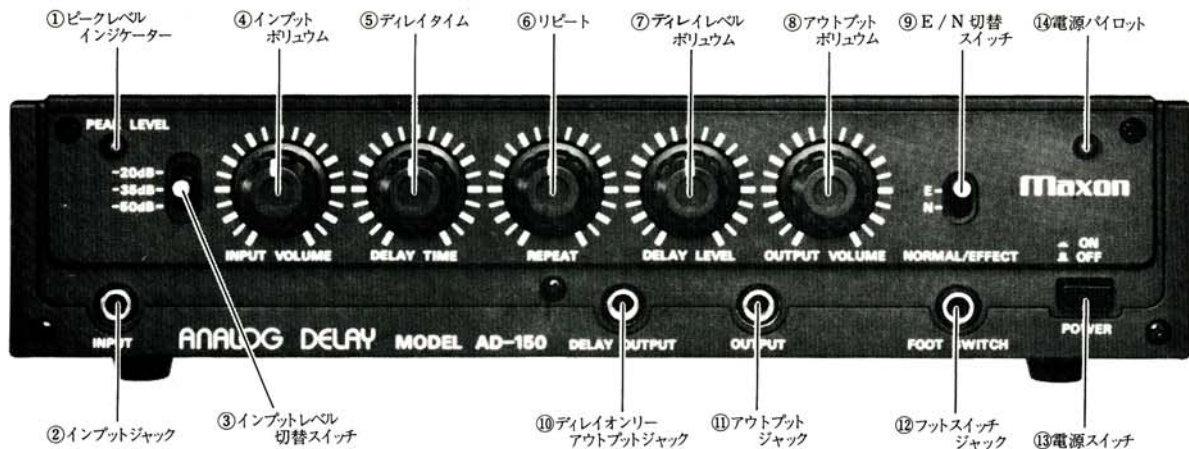
TEL 0263-40-1400 (代表) /0263-40-1403 (技術営業部)

FAX 0263-40-1410

<http://www.maxon.co.jp/>

[sales@maxon.co.jp](mailto:sales@maxon.co.jp)

## 〈パネルの名称と使い方〉

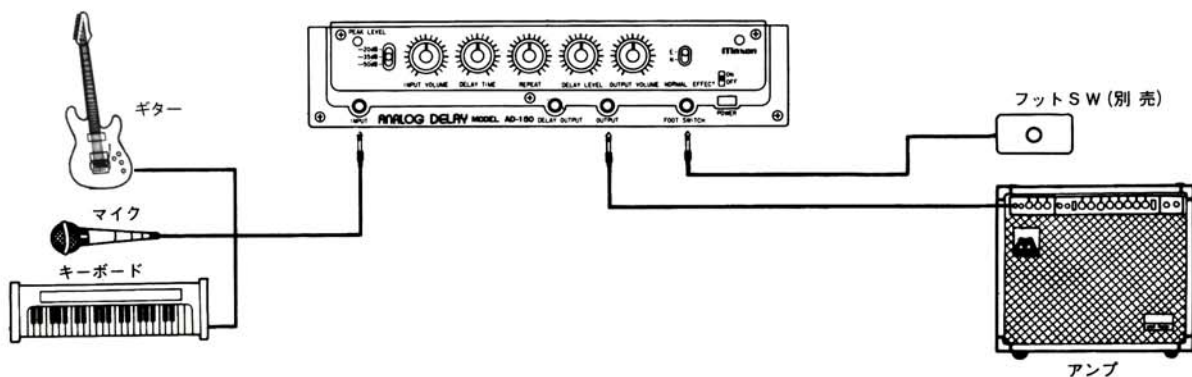


- ① **ピークレベルインジケーター** 入力レベルによって点灯します。
- ② **インプットジャック**  
マイクロホン又は楽器等を接続します。
- ③ **インプットレベル切替スイッチ**  
接続するマイク又は楽器のレベルによって適正に選択します。  
〔例〕 マイクロホン -50dB  
エレキギター -35dB  
キーボード及びミキサー -20dB  
〔注〕 -50dB ポジションはインピーダンス 5 K $\Omega$   
-35dB 及び -20dB はインピーダンス 500K $\Omega$  に設定されています。  
-50dB にインピーダンスの高い楽器を接続するとレベルが下る場合があります。
- ④ **インプットボリューム**  
入力レベルを調節します。①ピークレベルインジケーターが時々点灯する位置にセットして下さい。  
〔注〕 点灯しっぱなしは入力オーバーとなり歪の原因となります。
- ⑤ **ディレイタイム (エコータイム)**  
遅れの時間を調節します。左にまわすとディレイタイムは短くなり、右にまわすにしたがってディレイタイムは長くなります。
- ⑥ **リピート**  
エコー音のくり返す回数を調節します。  
左いっぱいまわすと1回くり返し、右にまわすにしたがってくり返しの回数が多くなります。  
6目盛から最大で発振する場合があります。この場合は目盛をさけてご使用下さい。
- ⑦ **ディレイ レベル**  
エコーレベルを調節します。右にまわすとエコー効果は大きくなります。
- ⑧ **アウトプットボリューム**  
出力音量を調節します。接続するアンプ、PA、及びミキサーに応じてセットします。
- ⑨ **エフェクト/ノーマル切替スイッチ**  
エコー効果がON-OFFします。
- ⑩ **ディレイオンリー アウトプット ジャック**  
エコー音だけの出力端子です。  
ミキサーや2台のアンプをご使用になるとき効果的です。
- ⑪ **アウトプット ジャック**  
出力端子です。アンプに接続して下さい。
- ⑫ **フットスイッチ ジャック**  
別売のフットスイッチを接続し、演奏中にエコー効果のON/OFFが自由に操作できます。  
〔注〕 フットスイッチを接続すると本器の⑨E/N切替スイッチは動作しません。
- ⑬ **電源スイッチ**  
押すとONし動作状態となります。再度押すとOFFとなります。雑音や電源ハムがある場合は電源プラグの向をかえて下さい。
- ⑭ **パイロット ランプ**  
電源がONになると点灯します。

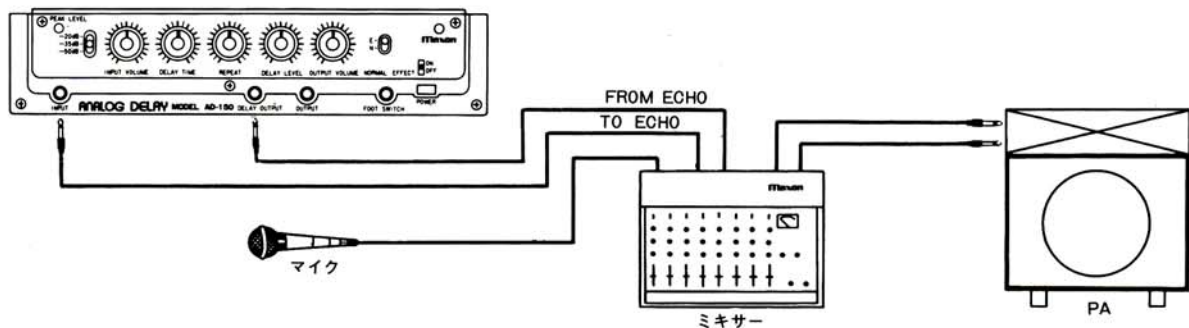


## 《接続のしかた》

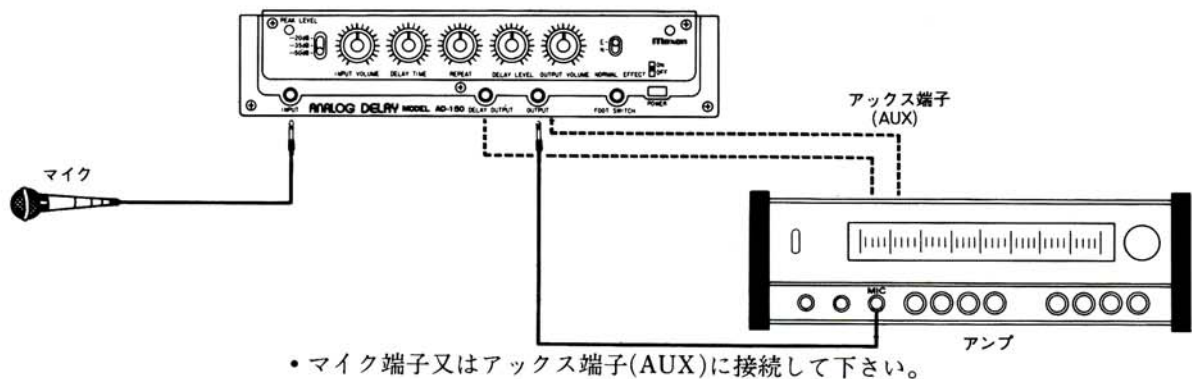
- 楽器、マイクの接続方法



- ミキサーとの接続方法



- オーディオアンプとの接続方法



- 2台のアンプを使って広がりのある立体的エコー

